

毎年5月下旬から8月上旬にかけて、アカウミガメが産卵のため、故郷の浜をめざして三重県に上陸します。

## ウミガメとともに、未来へ



写真提供：志摩半島野生動物研究会

↑アカウミガメの赤ちゃん

### アカウミガメの生活

アカウミガメの子ガメは波間を漂いながら、黒潮から北大平洋海流に乗り、約1年でアメリカ西海岸付近にたどり着きます。

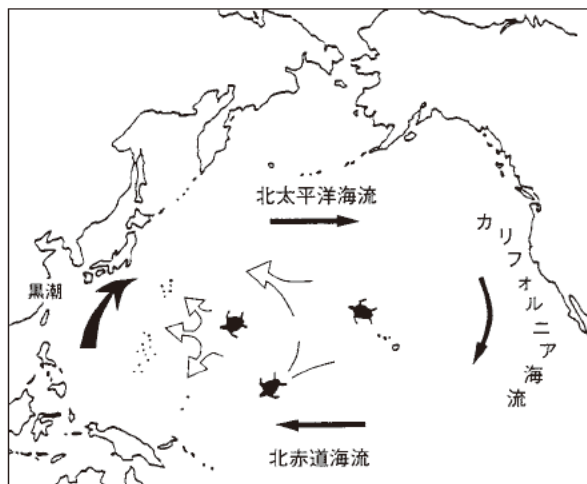
その後、太平洋上で浮遊生活を送り、成長すると北緯20～30度付近を流れる北赤道海流に乗り、産卵のため日本列島に上陸します。

ウミガメは、自分の生まれた浜に帰ってくると言われており、産卵を終えたカメは2～3年後に同じ浜に上陸すると報告されています。

アカウミガメは、太平洋とインド洋の亜熱帯や温帯海域に分布し、黒潮に乗って日本の近海に産卵などのために回遊してきます。

日本に上陸する雌の甲長は、90cm前後のものが多く見られます。

主に貝、エビ、魚などを好んで食べます。



### ウミガメの産卵と産卵を見守る保護監視員



写真提供：紀宝町ウミガメ公園

産卵のために紀宝町井田海岸に上陸するアカウミガメ。ウミガメ保護監視員がウミガメの安全な産卵状況の確保に努めています。



↑紀宝町井田海岸

### ウミガメ公園（紀宝町）

平成5（1993）年に井田海岸にオープンした「紀宝町ウミガメ公園」では、飼育棟でウミガメの生態観察ができます。また、資料館では、パネル、ビデオ等で生態を学ぶことができ、ウミガメ保護活動の拠点となっています。



紀宝町ウミガメ公園のお問い合わせは、

TEL 0735-32-3686 まで